

秋の花粉症について

花粉症と聞くとスギ・ヒノキの花粉症をイメージしがちですが、実は一年中様々な花粉が飛散していて、一年を通して花粉症になる可能性があります。また、スギ花粉症のある人は、秋の花粉症も発症しやすくなると言われています。

秋の花粉症の種類

秋の花粉症の原因として多いのは、ブタクサ・ヨモギ・カナムグラなどの草の花粉です。東海地方では、下記の期間に飛散することが多いです。



ブタクサ
8月中旬～9月下旬



カナムグラ
8月下旬～10月下旬

どれもありふれた植物で住宅地にも自生しています。

ヨモギ
8月中旬～10月中旬



セイタカアワダチソウ
10月上旬～11月中旬



症状について

秋の花粉症は風邪の症状と似ているため、気付かないこともあります。主な違いは、



	花粉症	風邪
鼻水	透明・サラサラ	粘性・着色
くしゃみ	連続する	時々
発熱	ほとんどない	多い
のど	痒い・イガイガ	痛い・腫れる

個人差があります

治療について

春の花粉症と同じです。抗アレルギー剤の内服を中心に抗炎症薬・漢方薬・点眼薬・点鼻薬を症状によって使い分けたり、組み合わせたりします。



対策について

春と同様ですが、マスク・ゴーグルを使って花粉を体内に入れないようにしましょう。また、秋の花粉は飛散情報が出ることはありませんので、自分で原因植物がないかチェックし、できるだけ近づかないようにしましょう。自宅の庭などは花が咲く前に除草してしまうのが良いでしょう。